

おたがいさま ニュース



第28号 2017.4.6

発行：南医療生協

おたがいさま運動推進委員会

地域ささえあいセンター

052-625-0650 (Fax0653)

1322のおたがいさま サポーターが活躍しています



- ・組合員さん他 555 名他 19 名
- ・職員 748 名

☆おたがいさま シート総数 835 件
シート 2016 年度 333 件

おたがいさまシートは、「困った」を聞いた人が、誰でもが記入することができるシートです。

- ・地域では、お1人暮らしの方や高齢の方に、サロンや班会にお誘いしたり、また健康の友を配布する際にお話する中で、「実はね」と困っていることがポロリと出てきます。
 - ・職場では、外来で、入院で、介護現場で、「お困りごとは何かないですか？」と一声かけるだけで、「実はね」と出てきます。
- その時に出てこなくても、声をかけ続けていれば、きっと出てくる時があります。だれでも、すぐには自分の困りごとを話したくないものです。
- みなさんは、どんな風に、声をかけていますか？**

おたがいさま事例



行政からのおたがいさまシート

その①他の事業所のケアマネジャーから南区南部いきいき支援センターへ→そして「独居の方です。リビングの天井の電球交換をしてほしい。電球の購入もお願いしたい」

★なぜ出されたか？

M 常務理事が、南区地域包括ケア推進会議の生活支援部会に出席しており、地域の困りごとを男塾で支援していることを報告してきたことつながりから。さっそく、男塾とたからプロックのHさんが出動し解決。今後はHさんが見守ることにしました。



その② 豊明市高齢福祉課

「独居の方です。こども会の廃品回収がなくなり、新聞がごみに出せずに困っています。」

★なぜ出されたか？

K 常務理事・Y 理事は、一昨年のまちづくり交流会にむけて、豊明市役所を何くれとなく訪問し続け、高齢福祉課の方々ともおしりあいになり、今では「おたがいさまの家いっぷく」の立ち上げや、総合支援事業の委託を受けるまでの関係に。Y 理事が健康の友を配る際に気にかけていたところ、高齢福祉課より依頼。K 理事とY 理事は、近隣市の訪問のついでに、ささっと新聞を回収してきました。

このように地域では子ども会や老人会などがなくなり、このことで高齢者の暮らしにも影響が出てきていることがわかります。

おたがいさま事例

あ・れ・こ・れ

■くらしの不自由を解決

- ・ベランダのごみを長年出せずにいる
- ・電球の交換をしてほしい
- ・スロープの車いすの跡を掃除してほしい
- ・リウマチで手が不自由。新しいズボンのゴムを入れなおしてほしい。

■暮らしのうるおい

- ・ママ茶会で、こどものヘアアレンジをしたいので講師を探してほしい
- ・娘の卒業式の袴の着付けをしてほしい

■くらしの不安

- ・足がしっかりせず病院へいけないので一緒に行ってほしい
- ・話し相手がほしい